

合同教育研究会議（3月9日開催）議事概要

1 開催日時

令和4年3月9日 13時00分～14時10分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、
宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、

劉高等教育推進センター国際教育研究部長、福島看護学部長、

高橋社会福祉学部長、高嶋総合政策学部長

亀田ソフトウェア情報学部長、

川崎盛岡短期大学部長、長坂盛岡短期大学部生活科学学科長、原盛岡短期大学部国際文化学科長

松田宮古短期大学部長、大志田宮古短期大学部経営情報学科長

菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、

長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web参加）

[事務局]

鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、
北島企画室長、高橋宮古事務局長、鈴木主幹、渡部主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議2月9日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

（1）岩手県立大学副専攻規程の一部を改正する規程案について

猪股高等教育企画部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

（2）岩手県立大学学則の一部を改正する学則案について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

（3）岩手県立大学履修規程の一部を改正する規程案について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、専門職大学の授業科目の追加とともに、同等の外国の大学からの履修も認めるとあるが、本当にできるか、授業料や単位互換といった問題を考えると難しいのでは、との発言があった。

これに対し関屋教育支援室長から、シラバスをチェックして授業内容を確認するといった作業が必要になってくる、各学部においてきちんと審査し、認められるものについては認めていく、との発言があった。

学長から、日本と海外とでは教育システムが異なる、海外は給料の査定があるため、そういった点にも注意しなければならないとの発言があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(4) **岩手県立大学大学院学則の一部を改正する学則案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(5) **岩手県立大学看護学研究科履修規程等の一部を改正する規程案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(6) **岩手県立大学大学院長期履修学生規程の一部を改正する規程案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(7) **岩手県立大学学位規程の一部を改正する規程案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、どういった意図があるのか、との発言があり、高嶋総合政策学部長から、今後行っていくカリキュラムのアセスメントを、学位を統一することによって、より綿密に行いたい意図である、との発言があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(8) **岩手県立大学盛岡短期大学部学則の一部を改正する学則案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(9) **岩手県立大学盛岡短期大学部履修規程の一部を改正する規程案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(10) **岩手県立大学宮古短期大学部学則の一部を改正する学則案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(11) **岩手県立大学宮古短期大学部履修規程の一部を改正する規程案について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(12) **アセスメント・ポリシーの策定について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(13) **【岩手県立大学大学院】ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの一部改定について**

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、本件はディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びカリキュラム・マップの可視化までいく前段階をウェブで公開し、高校生や大学1、2年生に分かるようにするという取組である、との発言があった。

内容について、原案のとおり了承された。

(14) 【ソフトウェア情報学部】学則における「学部の目的」及びディプロマ・ポリシーの一部改定について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

内容について、原案のとおり了承された。

報告事項（口頭報告）

(1) 本学における安全保障輸出管理体制の整備について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、資料を見ても自分には関係ないと思って終わってしまうことが多いが、内容をよく見ると実は関係あることが多い、本学の教職員に関係する部分を抜き出し、対応する部署が分かるようにしたガイドラインがあると良いのではないかと、との発言があった。

藤澤研究・地域連携室長から、外国に何かを持ち出すことが対象となるものであり、これらが駄目だということではなく、チェックしていくということになるが、留学生・研究者の受け入れや外国との共同研究については事務局で確認できるが、貨物の輸出、研究試料等の持ち出し及び非公開の講演会・展示会での発表等については、事務局では確認できないので、教職員による事前確認、具体的にはチェックシートで該当するかを確認し、研究・地域連携室や関係部署に相談してもらうことになる、との発言があった。

(2) 2021年度 APRIN eラーニングの履修状況について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(3) 令和4年度北いわて・三陸地域活性化推進研究の公募について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(4) 科学研究費助成事業研究種目別採択状況

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(5) 令和3年度岩手県立大学の就職内定状況（2月末現在）について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(6) 令和4年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の実施について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(7) 令和4年4月以降の本部長及び副本部長等の予定者について

石堂副学長から、資料に基づき説明があった。

(8) 令和4年4月以降の学部長及び学科長等の予定者について

石堂副学長から、資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和4年度岩手県立大学キャリア教育科目一覧の作成について（高等教育推進センター）

(2) 令和3年度第4回学務調整会議の開催概要について（教育支援本部）

(3) 令和4年度新学期行事日程について（教育支援本部）

(4) 令和3年度研究室保管図書点検実施結果について（教育支援本部）

(5) 大学院入試（第2次募集）選抜結果について（教育支援本部）

(6) 学長奨励賞の選考結果について（学生支援本部）

(7) 「コンバージェンス@いわてイノベ」事業実施について（研究・地域連携本部）

狩野研究・地域連携本部長から、周知をよろしく願う旨の発言があった。

学長から、できれば本学出身のベンチャー企業で働いている人と連携が取れると良いと思っている、特にデータサイエンスについて力を借りながら、DXの普及の試み等に役立ててほしい、との発言があった。

(8) 名誉教授の称号授与について（総務室）

その他

北島企画室長から、資料に基づき、令和4年度の本部長会議及び合同教育研究会議の開催日程が確定した旨の説明があった。

学長から、ロシアによるウクライナ侵攻について、いわて高等教育コンソーシアム所属機関の連名でメッセージを出すこと、今回、新聞掲載は差し控え、ウェブページに掲載することとなった旨の説明があった。

委員から、アセスメント・ポリシーが策定され、令和4年度から本格実施することについて、ぜひ頑張ってもらいたいとの発言があった。また、研究科の入学定員の充足について、大学院でもアセスメント・ポリシー、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーが公表になるので、社会人も含めて広く大学院の入学を促すよう上手く活用していただきたい、との発言があった。

また、委員から、科学研究費助成事業について指導の効果が徐々に表れてきているのではないかと、との発言があった。また、安全保障輸出管理は難しい問題だが、海外との研究や人材交流に当たって早期の対応が求められているため、先行している大学を参考にしながら進めていただきたい、との発言があった。